

カーリング日本女子チームに学ぶ 運命を変えた3つの要因

玖珂中学校 校長 林 英和

3学期も残すところ30日を切りました。よく正月から年度末にかけてのこの時期を「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」といい、月日の過ぎる早さを実に語呂よく的確に表現しています。

さて、今年度は夏に「東京オリンピック」、冬に「北京オリンピック」の2つのオリンピックが同時に開催され、私たちに数々の感動を与えてくれました。感動の新しいところと言えば、カーリング競技の日本女子チーム（ロコ・ソラーレ）の活躍があげられます。どんな難局であっても、明るく笑顔で競技に臨む選手らから、多くの希望と勇気、そして感動をもらいました。

一般にスポーツは、身長・体重などの体格差によって勝敗が左右されるため、競技によっては体重別に分かれている種目もあります。そのようなスポーツの世界で、カーリング日本女子チームは欧米の体格差をもちとせず、研ぎ澄まされた技術とここ一番の集中力で見事銀メダルを獲得。まさに「柔よく剛を制す」といった活躍でした。



では、なぜ予選敗退の危機から一転、決勝進出を果たすことができたのでしょうか。私なりに分析してみました。

一つ目は、「失敗を失敗にせず、すぐに軌道修正できる判断力がある」からだと思います。ストーンを投げ、氷の感覚で思うように作戦がとれなくても、瞬時にスィーパー（氷を掃く人）に指示を出し、作戦を変更する柔軟性がありました。今大会の予選で韓国やスイスに連敗したときも、敗戦の原因を冷静に分析し、すぐさま次の試合に活かしています。その修正力は準決勝で世界ランク1位のスイスとの再戦で実証され、見事勝利を収めることができました。

二つ目は、「試合中に絶えずコミュニケーションをとりあっている」ところだと思います。前回のピョンチャン大会で有名になった「そだね～」を今大会では封印し、常に前向きな言葉を口に出し、選手同士で今何をすべきかを話し合っていました。今回のオリンピックの出場権を争う国内大会においても、初戦からいきなり2連敗、もう1敗もできない極限の状態の中で彼女らが何度も口に出した言葉が、「運命を変えよう！」でした。その後から3連勝して日本代表に、そして世界最終予選も勝ち抜いてオリンピック出場を果たし、今大会の銀メダルにつながっていくのです。まさに、有言実行、無限の可能性を秘めたチームだったのです。

三つ目は、彼女らの性格の明るさもありますが、何と云っても「チームの地元、人口わずか5000人の北海道常呂町の人々から愛されている」ということです。前回オリンピックで銅メダルをもって、地元で凱旋した時、吉田知那美選手は、「この町、何も無いよね。小さい頃はここにいたら夢は叶わないんじゃないかと思っていました。でも今は、この町だったからこそ夢が叶ったんじゃないかと思っています。」と感謝の言葉を述べています。その後コロナ禍となり、チームは海外遠征どころか、国内大会ですら出場できない中、練習試合を買って出たのが、地元のカーリングチームでした。老若男女に関わらず、みんなから愛されるチームだからこそ、運も味方につけたのではないのでしょうか。



このように今回のオリンピックでのカーリングの話題をひとつ取り上げても、私たちの生き方や考え方、周囲の方々への感謝など、深く学べるきっかけがたくさんあります。全てを見習うことはできなくても、選手の生き方を真似、心がけてみることは決して無駄なことではないように思います。

そこで私も「ロコ・ソラーレ」（常呂っ子、地元を照らす太陽の意）にちなんで、「クガ・ソラーレ」の精神で、多忙な年度末を笑顔で生き生きと、子どもたちを明るく照らす太陽のような振る舞いを心がけていきたいと思っています。

家庭・地域とともにある学校を目指した活動

2/17(木)



第3回学校運営協議会

地域連携

学校運営

家庭との協力

2/24(木)



くらかけネット協議会

2/4(金)



PTA総合役員会

2/10(木)



新入生の保護者を対象に入学説明会

豊かな学びを保証し、

安全・安心な学校づくり

コロナ禍での皆様のご支援に感謝申し上げます。

2/18(金)

玖珂地域連合自治会「防災教室」

まずは、自助の意識を



今年も玖珂地域自治会連合会による2年生を対象にした「防災教室」を開催しました。

昨年度に続きコロナ禍での開催となりましたが、吉田連合自治会長様を始めとした玖珂地域の防災士の皆様、藤本玖珂支所長様、社会福祉協議会の皆様など

多くの関係機関の皆様のご協力を得て、クイズ形式による分かりやすいお話で防災意識を高めることができました。

吉田会長様との会話の中で、「この防災教室は、まずは自分の命を自分で守る『自助』の意識が大切。その上で『共助』、さらに『公助』の意識が高まってくることを期待したい」とのお話をうかがい、中学生への防災教室の意義を改めて気づく機会になりました。

3月の行事予定

日	曜	行	事
1	火	(県立高校卒業式) 交通指導	
2	水		
3	木		
4	金		
5	土	週休日	
6	日	週休日	
7	月		
8	火	山口県公立高校入試	
9	水	卒業式予行 3年生を送る会	
10	木	第75回卒業証書授与式 (午前中まで下校、給食なし)	
11	金		
12	土	週休日	
13	日	週休日	
14	月	クラスマッチ (1年)	【14:00放課】
15	火	クラスマッチ (2年) 職員会議 部活中止	【14:00放課】
16	水	公立入試合格発表	【14:00放課】
17	木	1年職業講話	【14:00放課】
18	金	(玖珂小学校卒業式)	【14:00放課】
19	土	週休日	
20	日	週休日	
21	月	春分の日	
22	火	新入生一日入学 (午前) 1・2年学年懇談会14:30~15:10	
23	水	1年海の落語プロジェクト	
24	木	給食終了	
25	金	修了式 (給食なし)	
26	土	週休日	
27	日	週休日	
28	月	学年末休業開始 (~4/7)	
29	火		
30	水	離任式13:30	
31	木		

三年連続で 第25回毎日俳句大賞

全国レベルの賞を受賞

この度、毎日新聞社主催の第25回毎日俳句大賞において本校は二年連続で「学校優秀賞」を受賞しました。

毎日俳句大賞には、全国の小中学校から毎年約1万2千点を超える応募があり、その中から優秀な作品を5点選び表彰しているものです。

今年度も第3学年の国語の授業(福本智美教諭指導)で俳句を学習し、その中で詠んだ句を応募しました。個人での上位入賞者はなかったものの、学校として優れた句を数多く出品したことで「学校優秀賞」をいただきました。感受性の鋭い中学生に、限られた17文字で情景や季節感を表現する力を身につけさせる福本教諭の授業力とともに、3年生諸君の授業での頑張りや評価されたことをうれしく思います。



- 1・2年生の年度末学年懇談会は、3月22日(火)14:30~
- 離任式は、3月30日(水)13:30~